

どんどん増えることから家紋になったり、
蓼酸しゅうさんを含んだ汁で和鏡を磨いたり、昔から
身近な草花です。反面、どこにも生えてくる
たくましさから、厄介な雑草とも見なされて
きました。カタバミの花は黄色くて一円玉よ
り小さく、ハート形の小葉が三枚まとまっ
ていることから、クローバーと混同されること
があります。葉は赤みを帯びたものもあり、
茎を這はわせて増えていきます。

最近、這わないで立ち上がる国外外来種
のオッタチカタバミを見ることが多くなりま
した。園芸種として持ち込まれピンク系の花
を付けるムラサキカタバミやイモカタバミも、
町内ではさまざまところで見かけます。

なお、相和地区には、エゾタチカタバミと
呼ばれる在来種も自生しています。



▲カタバミ



▲オッタチカタバミ

おおい自然園園長 一寸木肇

【おおい自然園 HP】



▲大井町の動植物や
虫、石、自然観を掲
載の結果などをも
載せています。